

GLANT ESL ACADEMY

ご渡航前案内書

この案内書には GLANT ESL ACADEMY にお越しくくださる生徒様に、事前に知っていただきたい情報が書かれております。ご留学準備に役立てていただければ幸いです。



www. Cebuglant.com, email : edu.glantcebu@gmail.com Kakaotalk: glantcebu, skype: cebu.glant
Glant academy, floremer subdivision, as fortuna street, banilad, mandaue, cebu
Tel : 63 32 238 6925

1. 出発前の準備事項

(1) パスポートの準備

ご留学前にパスポートの有効期限が切れていないかご確認をお願いします。ご出発時にはパスポートのお忘れがないよう気をつけてください。念のため複数枚パスポートのコピーをとっておくことをおすすめします。ご滞在中はパスポート原本を手続きのため、当校にてお預かりさせていただき、ご帰国前にお返しいたします。

(2) 経費の準備

主な換金方法は以下の3つになります。

- ① 現金を持ち込んで、現地で両替
- ② 国際キャッシュカード
- ③ クレジットカードのキャッシング

① 現金を持ち込んで、現地で両替

両替時に手数料が発生しませんので、いかなる方法より両替が最もお得です。空港の両替レートは悪いので、現地に到着後に両替されることをおすすめいたします。到着後、スタッフにてレートの良い両替所をご案内しますのでご安心ください。

※フィリピンに持ち込める円の限度額に関しては、日本からの円持ち出し限度はありません。しかし、100万円相当額を超える現金（旅行小切手・有価証券）を持ち出す場合は「外貨申告」が必要です。

②国際キャッシュカード

国際キャッシュカードは、現地の ATM などから日本の銀行のキャッシュカードを使って円口座から現地の通貨を引き出すことができるシステムです。フィリピンで口座開設不要のため、非常に便利なカードです。銀行側で手数料無料としていても、フィリピンの ATM 手数料が「200~250 ペソ」発生します。

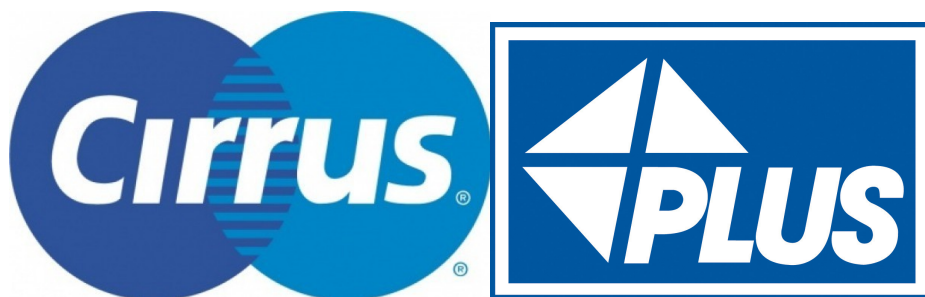
＜国際キャッシュカードの機能を持つ銀行カード例＞

ジャパンネット銀行、新生銀行、楽天銀行（クレジットカードと一体型）、Citibank 等...

③クレジットカードのキャッシング

クレジットのキャッシング機能を利用して、ATM から現地ペソを引き出すことが可能です。ご渡航前にお持ちのクレジットカードが海外対応のものなのか、また限度額の確認が必要です。

ATM 手数料が 1 回につき「200~250 ペソ（420 円~600 円程度）」発生し、1 回の最大引き落とし可能額は「10,000 ペソ（22,000 円程度）」となります。



※クレジットカードの裏に「Cirrus」「Plus」マークが記載されているかを確認しましょう。このどちらかの記載が ATM にもあれば、お持ちのカードをフィリピンの ATM でも使用することができます。

(3)衣類及び生活用品

当校で生活用品のご提供は基本的にございませんので、生徒様ご自身でご用意いただく必要があります。

どんなものをご用意いただく必要があるかについて記載しますので、ご参考にさせていただければと思います。

①衣類

フィリピンの平均気温は 26 度程度で、1 年中半袖でお過ごしいただける気候です。セブは雨季（6 月～11 月）と乾季（12 月～5 月）に分かれており、雨季になるとスコールと呼ばれる強い雨が 4 時間程度おきに降ります。日本のような豪雨を想像する人もいらっしゃるかと思いますが、セブでは雨が降っても数十分、または 1 時間程度で止みます。雨季でも十分暑いので半袖、短パンで快適にお過ごしいただけます。

生活しやすい半袖の T シャツ、短パンを複数枚お持ちいただくことをおすすめいたします。もちろん現地のショッピングモールや露店で調達も可能です。

またセブのレストラン・カフェ・ショッピングモールはかなりエアコンが効いていて寒いので、すぐに羽織れるようなパーカー・カーディガン等を 1 枚でもお持ちいただくことをおすすめします。

②生活用品

・トイレットペーパー：大きなショッピングモール、レストランのトイレではトイレットペーパーが付いていますが、当校含め他の場所では基本的

に付いていません。また日本と違い、使い終わったペーパーを直接トイレに流すと詰まりの原因になってしまうため、横のゴミ箱に捨てます。到着後ペーパーをすぐに調達できない可能性もあるため、1ロールだけでもお持ちいただくことをおすすめします。

・薬：セブで売っている薬が合わない方もいらっしゃるので、日本から普段使っている風邪薬、鎮痛剤、胃腸薬、便秘薬などをいくつか持っていくと安心です。

・シャンプー,リンス,ボディーソープ,洗顔料：セブでも簡単に調達可能です。“Pantene（パンテーン）”や“Dove（ダブ）”等、日本で良く目にする製品も売っています。肌荒れ等心配な方は、日本で使用しているものをそのままお持ちいただくことをおすすめします。

・化粧品：セブで日本製のものは調達が難しく、あったとしても日本で買うよりも割高になってしまいます。肌荒れなど心配な方は、日本で使用しているものをそのまま持ち込むことをおすすめします。ただセブには多くの韓国コスメ店（“ETUDE HOUSE”, “THE FACE SHOP”等）があるため、何か無くなった場合はそこで調達も可能です。

・歯ブラシ,歯磨き粉：質は落ちますが、現地で調達可能です。

・コンセント変換プラグ,変圧器：セブではコンセントは日本と同じため変換は必要ないです。ただしセブの電圧は日本より強く「220 ボルト」、従って日本の「100 ボルト」で使用している電化製品には負荷がかかってしまい壊れる可能性があります。持ち込む予定の電化製品が何ボルト対応のものであるか、確認が必須です。日本のみの対応の場合、変圧器を使うことでセブでも使用することができます。

※携帯電話・パソコン等の充電器は海外の電圧でも基本的に使えるものがほとんどですが、念のために確認をお願いします。

・ヘアドライヤー：学校で貸し出しはございませんので、ご自身でご用意いただく必要があります。現地で調達も可能（1,000 ペソ程度/2,200 円程度）。持ち込む場合はドライヤーの電圧が何ボルトか確認が必要です。

・バスタオル・タオル：学校で提供はございませんので、ご自身でご用意いただく必要があります。2-3 枚程度持つておくと便利です。

・洗濯洗剤：学校で提供はございませんので、ご自身でご用意いただく必要があります。現地で十分調達可能です。敏感肌な方は外国製の洗剤が肌に合わない可能性もあるので、日本から持ち込むことをおすすめします。
※学校に 2 台洗濯機の設置有り。無料でご使用いただけます。学校の近くにランドリーショップもあるので、そちらを利用すれば洗濯・乾燥が済んだものが畳まれた状態で帰ってきます（29 ペソ/1KG※3KG 料金から計算）。

・洗濯用品：ハンガーには学校にあるため、持ち込み不要です。洗濯ネットや洗濯バサミ等、お持ちいただくと便利です。

・虫除けスプレー：日本に比べてセブでは蚊が多いため、日本製の虫除けスプレーを持ち込むことをおすすめします。

・日焼け止め：日本製の方が質も良く、肌荒れ等も少ないため持ち込むことをおすすめします。ビーチに行く際や、長時間外に出る際には日焼け止めは必須です。

・電子辞書：すでにお持ちの方は、お持ちいただくことをおすすめします。全ての教室で WiFi がスムーズに使えるわけではないので、持つておくと便利です。携帯電話でも代用可能です。オフライン辞書をダウンロードしておく、いつでも確認できるため便利です。

・延長コード：特に2人部屋や3人部屋をご選択された方に、お持ちいただくことをおすすめします。電源が近くにない場合に役立ちます。

・筆記用具：現地調達も可能ですが、質は日本製のものより悪いです。こだわりのある方は日本からそのままお持ちいただくと安心です。

・参考書：日本語で書かれた文法書、単語帳、例文集など持ち込んでおくと、自習時に役立ちます。

(4)海外保険の加入

留学前に保険に入るかどうか悩まれるかたもいらっしゃると思います。思わぬ病気・怪我による出費、盗難などの被害にある可能性は十分ありますので、滞在期間にかかわらず、必ず加入するようにして下さい。

海外留学の際に保険に入る方法は2つあります。

①保険会社の海外旅行保険プランに申し込む方法

②クレジットカードに付帯している海外旅行保険の補償を利用する方法

「初めてフィリピンに留学する方」、「90日以上海外に滞在する方」は①の保険会社の海外旅行保険プランに加入することを強くおすすめいたします。初めてのフィリピン留学では、体がこちらの気候や環境に適応できず、簡単に体調を崩す可能性が高いためです。

90日以上はクレジットカードの海外旅行保険の保険対象外になるケースが多いです。

①保険会社の海外旅行保険プランに申し込む方法

申し込む海外旅行保険プランによって異なりますが、ほとんどの場合「キャッシュレス」対応が可能です。これは提携している病院に行けば、診療費・治療費・薬代などの支払いが原則免除されるサービスです。

どれくらいの診察費が必要かなど、費用面の心配をしなくて済むため加入することをおすすめいたします。

※ご留学前に証券番号の記載ある画面を印刷しておきましょう。

②クレジットカードに付帯している海外旅行保険の補償を利用する方法

クレジットカードに付帯している海外旅行保険の補償内容の確認は、出発前に必ずするようにして下さい。現地の病院にかかる際は、一度現地で支払い帰国後に請求する必要があります。帰国後の手続きに時間がかかることと、診察費がかなり高額になった場合、立替が厳しいことがデメリットとして挙げられます。

(5)航空券の購入

セブ島へ行くには、

「**直行便を使う**」または「**韓国や香港、マニラ乗り換えで迂回する**」方法があります。

<主要航空会社一覧>

- ・セブパシフィック
- ・フィリピン航空
- ・バニラエア
- ・大韓航空（韓国経由）
- ・ジンエアー（韓国経由）
- ・キャセイパシフィック（香港経由）

格安航空券は、早めに予約することで安い航空券を購入することができます。そのため留学日程が決まりましたら、なるべく早めに航空券を予約しましょう。

またフィリピンでは片道の航空券を所持しているだけでは入国できません。入国の際に出国用のチケットを提示する必要があります。出国用チケットは日本以外の国のチケットでも可能です。

(6)出発

A. 出国及び搭乗の手続き

出発の2～3時間前に空港に到着し、搭乗の手続きを行います。空港についてから各航空会社のカウンターに行き、出国の手続きを行います。パスポートとチケットを提示し、荷物などをチェックインします。その後座席のボーディングパスをもらいます。

※スプレー、液体類、刃物などは受託手荷物（チェックイン預け手荷物）の方に入れてください。

B. 税関 (Custom)

保安検査を終えて携帯品についての検査が終わった後、貴重品と深刻すると目的に入国する際に税金を納めなくても済みます。

C. 出国

出国審査を終えて中に入ると免税店があります。時間の余裕がある場合、出国ゲートに行く30分前までに買い物を済ませ、時間に間に合うようにしましょう。

※利用される航空会社によっては、機内食及び飲み物が提供されない場合もあります。出発前にご自身で予約した航空会社のサービス内容を確認し、必要な場合には免税店で飲み物などを購入するようにしましょう。

D. 飛行中

機内でフィリピンの入国届け、税関申告カードが配られます。必ず機内で前もって入国届けを記入してください。

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES DEPARTMENT OF JUSTICE BUREAU OF IMMIGRATION		ARRIVAL CARD
Fill this card in English with blue or black pen and in CAPITAL letters.		
1	LAST NAME N I P P O N	
2	FIRST NAME T A R O	
3	MIDDLE NAME	
4	CONTACT NUMBER AND/OR E-MAIL ADDRESS 0 9 0 - 1 2 3 4 - X X X X	
5	PASSPORT / TRAVEL DOCUMENT NUMBER M H 1 2 3 X X X X	
6	COUNTRY OF FIRST DEPARTURE J A P A N	
7	COUNTRY OF RESIDENCE J A P A N	
8	OCCUPATION / WORK O F F I C E C L E R K	
9	FLIGHT / VOYAGE NUMBER J A L 7 4 1	
10	PURPOSE OF TRAVEL (check one only) <input checked="" type="checkbox"/> PLEASURE / VACATION <input type="checkbox"/> OVERSEAS FILIPINO WORKER <input type="checkbox"/> FRIENDS / RELATIVES <input type="checkbox"/> RETURNING RESIDENT <input type="checkbox"/> CONVENTION / CONFERENCE <input type="checkbox"/> WORK / EMPLOYMENT <input type="checkbox"/> EDUCATION / TRAINING <input type="checkbox"/> BUSINESS / PROFESSIONAL <input type="checkbox"/> OFFICIAL MISSION <input type="checkbox"/> RELIGION / PILGRIMAGE <input type="checkbox"/> HEALTH / MEDICAL <input type="checkbox"/> OTHERS _____	
11	SIGNATURE OF PASSENGER 日本太郎 (自筆)	
FOR OFFICIAL USE ONLY		

<入国届けの書き方>

1. 名字 (大文字のローマ字)
2. 名前 (大文字のローマ字)
3. 空欄で可
4. 電話番号 (携帯電話・固定電話どちらでも可)
5. パスポート番号

6. 出発した国 (JAPAN)

7. 住んでいる国 (JAPAN)

8. 職業 (OFFICE CLERK 「事務員」 /OFFICE WORKER 「サラリーマン」
/EMPLOYEE 「従業員」 /STUDENT 「学生」 /NONE 「退職者」)

9. 飛行機のフライトナンバー (航空券に記載有り)


10. 渡航目的 (語学留学の場合は「PLEASURE/VACATION (観光)」にチェックを入れます)

※学校に到着後に就学用の手続きをするため、まずは観光として入国します。

11. サイン (パスポートと同じサインが好ましいです)

<税関申告カードの書き方>

入国届けと合わせて、税関申告カードの記入も必要です。必ず飛行中に記入を済ませるようにしましょう。

 Republic of the Philippines Department of Finance BUREAU OF CUSTOMS			
CUSTOMS DECLARATION			
All arriving passengers must provide the following information, if traveling with a family, only one (1) declaration is required to be made by the head or any responsible member thereof. Please fill-up completely and legibly.			
SURNAME / FAMILY NAME		FIRST NAME	MIDDLE NAME
SEX <input type="checkbox"/> MALE <input type="checkbox"/> FEMALE		BIRTHDAY (MM / DD / YY)	
CITIZENSHIP		OCCUPATION / PROFESSION	
PASSPORT NO.		DATE AND PLACE OF ISSUE	
ADDRESS (Philippines)		ADDRESS (Abroad)	
FLIGHT NO.	AIRPORT OF ORIGIN	DATE OF ARRIVAL	
PURPOSE / NATURE OF TRAVEL TO THE PHILIPPINES			
1. Balikbayan		4. Business	
2. Returning Resident		5. Tourism	
3. Overseas Filipino Worker		6. Others (Specify)	
NO. OF ACCOMPANYING MEMBERS OF THE FAMILY:			
NO. OF BAGGAGE:			
GENERAL DECLARATION: (Please read important information at the back)			
1. Are you bringing in live animals, plants, fishes and/or their products and by-products?(If yes, please see a Customs Officer before proceeding to the Quarantine Office).			
2. Are you carrying legal tender Philippine notes and coins or checks, money order and other bills of exchange drawn in pesos against banks operating in the Philippines in excess of PHP 10,000.00?			
If yes, do you have the required Bangko Sentral ng Pilipinas authority to carry the same?			
3. Are you carrying foreign currency or other foreign exchange-denomination bearer negotiable monetary instruments(including travelers checks in excess of US\$ 10,000.00 or its equivalent? (If yes ask for and accomplish foreign currency Declaration Form at the Customs Desk at Arrival and Departure areas.			
4. Are you bringing in prohibited items(firearms ammunitions and part thereof, drugs, controlled chemicals)or regulated items (VCDs, DVDs, communication devices, transceivers)?			
5. Are you bringing in jewelries, electronic goods, and commercial merchandise and/or samples purchased or acquired abroad?			
ALL PERSONS AND BAGGAGE ARE SUBJECT TO SEARCH AT ANY TIME. (Section 2210 and 2212 Tariff & Customs Code of the Philippines as amended)			
I HEREBY CERTIFY UNDER PENALTY OF LAW THAT THIS DECLARATION TRUE AND CORRECT		DATE OF LAST DEPARTURE FROM THE PHILIPPINES	
SIGNATURE OF PASSENGER			
FOR CUSTOMS USE ONLY			
PRINTED NAME & SIGNATURE OF CUSTOMS OFFICER		CODE NO.	LANE NO.
			DATE

1. 名字・名前（ローマ字で記入）
2. 性別（「MALE/男性」 or 「FEMALE/女性」 どちらかにチェック）
3. 誕生日（月・日・年の順番で記入。例：12/12/1995）
4. 国籍（「JAPAN」と記入）
5. 職業（「OFFICE CLEAK/事務員」「OFFICE WORKER/サラリーマン」
「EMPLOYEE/授業員」「STUDENT/学生」「NONE/退職者」）
6. パスポート番号
7. パスポートの取得日と場所（パスポートに記載の「Date of issue」日付と
場所「JAPAN」を記入）
8. フィリピンでの滞在記住所（「Cebu Water Front Hotel」と記入。実際に
にこのホテルに滞在するわけではありませんが、学校の名前・住所・滞在
期間など詳細を答えなければいけないという煩わしい事を避けるため
です）
9. 日本での住所（ローマ字で番地・町名・市・都道府県の順で記入）
10. フライト番号（航空券に記載のフライト番号を記入）
11. 出発した空港名（「NARITA」など空港名を記入）
12. 到着した日付（月・日・年の順で記入）
13. フィリピンへの渡航目的（「Tourism/観光」にチェック）

14. 同行家族の人数

15. 荷物の個数

16. 特に申告するものがなければ、1～5番の全ての右側の四角にチェック。

17. サイン（パスポートと同じサインが好ましいです）

18. 前回フィリピンを出国した日付（初めての方は回答不要）

万が一機内で記入できなかった場合は、マクタン・セブ空港にカウンターが設置されていてそこで記入可能です。書き方も大きく掲示されています。

「入国届け」はイミグレーションスタッフに、「税関申告カード」はイミグレーションを通過後、受託荷物を受け取り、出口付近でスタッフへの提出となります。

2. ピックアップ案内

マクタン空港に到着した後、フィリピンの入国手続きを行います。この手続きは大変混み合いますので、早めに動くとも入国手続きの待ち時間を短縮することができます。

入国手続きを終えて手荷物を受け取ると、すぐ前方に出口があります。出口を出て道路のすぐ向かい側に、生徒様のお名前が書かれている紙を持ったスタッフがお待ちしております。

※空港内で sim カードを購入すると割高になってしまい、時間もかかってしまいます。学校到着後に近くのショッピングモールで購入可能なため、特別な理由がない限りは空港内で購入することを避けて下さい。

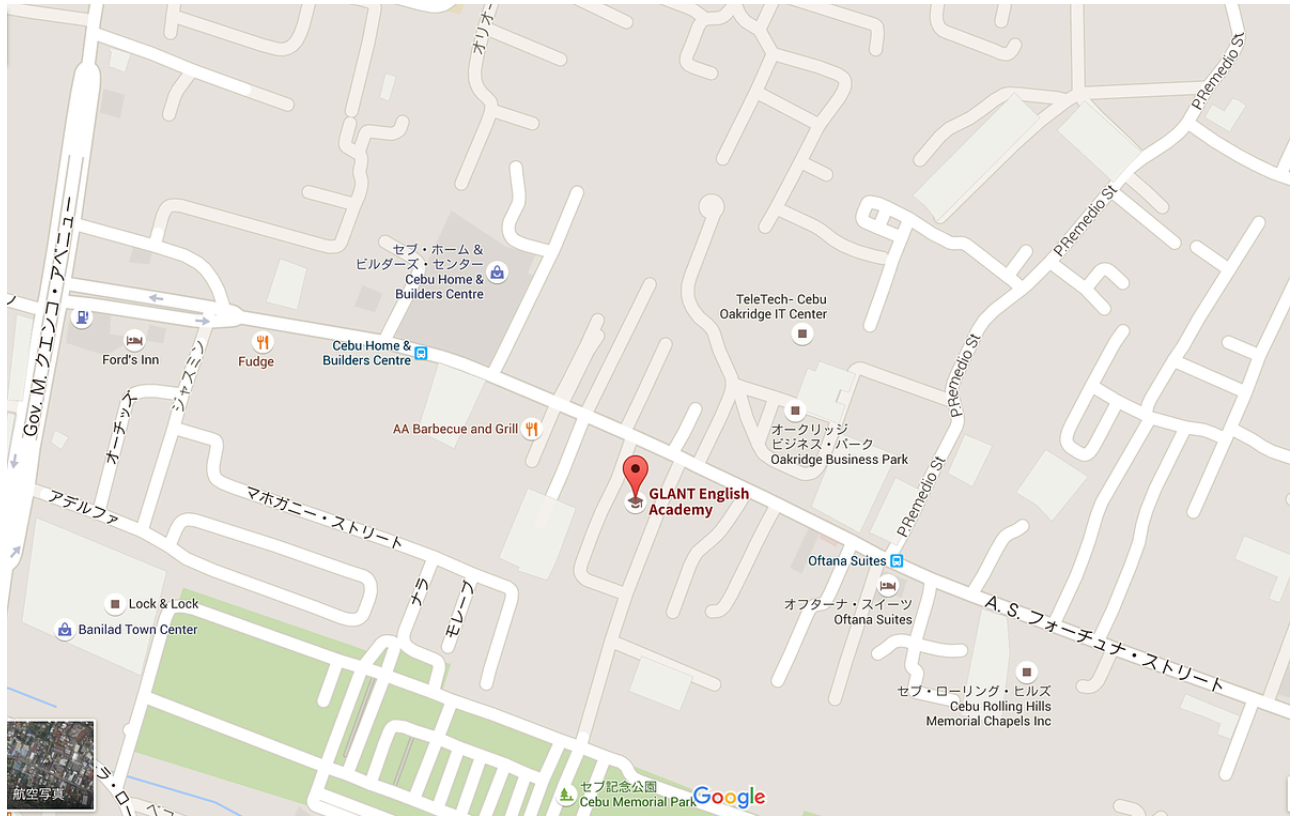
<万が一スタッフと会えなかった場合>

まずは事前にお送りしたピックアップレターに記載あるスタッフの連絡先に連絡を試みて下さい。

連絡が取れなかった場合、空港のタクシー乗り場に向かってください。セブには「白色のタクシー」と「黄色のタクシー」があります。黄色のタクシーは初乗り料金が白色のものとは比べて高く、メーターも早く上がるため必ず「白色のタクシー」に乗るようにしてください。

タクシードライバーに「**A.S Fortuna street** (エイエスフォーチュナストリート)」、「**Oakridge** (オークリッジ)」と言ってスターボックスの前で降りて下さい。

その後は **Oakridge** の向かい側に渡り、「**Human nature**」というお店を通りすぎた所すぐの角を左に曲がります。少し進むと左手側に当校がございます。看板の設置などなく、茶色の鉄製の門が目印です。



※GLANT の位置を示した地図。

4. 現地生活

(1) ビザ延長手続き

日本人はフィリピンに観光目的もしくは商用で訪れる場合、最大 30 日間であればビザなしで滞在することができます。

31 日を過ぎて滞在する場合は観光ビザの延長が必要ですが、手続きは全て現地到着後に学校スタッフが代行します。

延長回数	延長費用	滞在可能日数	滞在可能週
1 回目の延長	3,500 ペソ	初日から計算して 59 日間滞在可能	8 週
2 回目の延長	8,400 ペソ	初日から計算して 89 日間滞在可能	12 週

※事前のビザ申請は全く必要ありません。学校到着後の手続きで問題ないです。

※フィリピンでの滞在可能期間は最大 1 年間。

※2 回目のビザ延長時に I-Card というフィリピンでの外国人登録証なるものを、59 日以上滞在する場合必ず発給しなければいけません。

(2)現地支払い費用

授業料・寮費等は日本のエージェント様を通して事前にお支払いただいているかと思いますが、そのご費用とは別に現地到着後、現地通貨ペソでお支払いただくご費用がございます。

クレジット支払いは対応しておりませんので、必ず現金でのお支払となります。

①SSP : 6,000 ペソ (6 ヶ月有効)

「Special Study Permit (特別就学許可証)」の略。フィリピン留学の場合、事前のビザ申請不要で観光ビザで入国します。そのため観光ビザでフィリピンに入国した人が、フィリピン国内で合法的に勉強するために必要なのが「SSP」となります。

※留学の期間にかかわらず申請必須。また SSP は学校毎に申請する必要がありますので、留学期間中に転向される場合はたとえ 1 校目の SSP 有効期限内だとしても、2 校目で SSP を新規申請する必要があります。

②ビザ延長手続き費用 : 3,500 ペソ (1 回目) /8,400 ペソ (2 回目)

※31 日を過ぎてフィリピンに滞在する生徒様のみ、お手続きが必要です。

③電気代デポジット費用 : 1,000 ペソ (4 週間)

お部屋の電気代は使用された分だけ、別途お支払の必要がございます。デポジットとして最初に 1,000 ペソお支払いただき、ご帰国前に合計電気料金を確認いたします。余りがあればその分ご返金、1,000 ペソ以上ご使用されていた場合は超過分を追加でお支払いただきます。

※2人部屋・3人部屋をご利用のお客様の場合、電気料金はルームメイトと折半になります。

④テキストブック代：150~350ペソ（1冊につき）

ご選択されたコース内容、生徒様の英語レベルによってテキストを選定いたしますので、合計金額は生徒様によって異なります。合計1,000ペソ程度が平均金額です。

(3)寮の規則

生徒の皆様安心して快適な生活を送っていただくために、当校の寮にはいくつかの規則があります。

生徒様の自由を尊重するため、基本的に厳しい規則は設けておりません。ご自身で節度を持って行動していただくように、心がけて下さい。

①門限

当校には原則門限がありません。お好きな時間に外出し、ご帰宅いただくことができます。

外出先で起きたトラブルなどは自己責任となりますので、くれぐれも節度を持って行動するように心がけて下さい。

②校内へのお酒の持ち込み、喫煙

校内へお酒の持ち込み可。室内でお酒を楽しんでいただけます。しかし飲酒が原因で問題を起こした場合、強制退寮いただく可能性もございます。

原則校内は禁煙ですが、いくつかの喫煙スペースがございます。禁煙スペースでは絶対にタバコは吸わないよう、また他の生徒様のご迷惑にならないようご配慮のほどお願いいたします。

③異性の部屋への出入り

22時以降はお控えいただくようお願いいたします。

④生徒以外の人物の立入り

禁止ではありませんが、訪問前に事前にスタッフに許可を取って下さい。

⑤食事時間

平日

朝ごはん：8:00~8:50

昼ごはん：12:00~12:50

夕ごはん：6:00~6:50

土日・祝日

ブランチ：10:00~10:50

夕ごはん：5:00~5:50

※必ず時間内に食べるようにして下さい。

※当校の食事はどれもバイキング形式です。食べ物アレルギーをお持ちの方は、ご自身で避けて食事をお取り下さい。

⑥ルームクリーニング

当校ではルームクリーニング・ベッドメイキングが週に1回提供されています。

(4)現地での生活費用

生徒様によって使用金額は異なりますが、大体月に25,000円~50,000円程です。

タクシーは初乗り「40ペソ（88円程）」、現地の乗り物ジプニーは区間によって異なりますが基本は「7ペソ（16円程）」、交通費は日本と比べてかなり安く済みます。

日本食レストラン・韓国料理レストランは基本的に日本と同じ価格です。

買い物に関しては、徒歩1分程の所に「Rustan's（ルスタンス）」という高級スーパーマーケットがあります。海外からの輸入品を取り扱っているスーパーで、店内はあまり混んでおらず、とても綺麗です。他のローカルスーパーよりも値段はやや高めですが、日本円で考えると高すぎるというわけではなく、とても利用しやすいスーパーです。

センターモール：タクシーで7分程。

ガイサノカントリーモール：徒歩15分程。

アヤラモール：タクシーで10分程。

SM モール：タクシーで 15 分程。

※渋滞状況によって、必要時間はかなり異なります。

(5)携帯電話

日本で使用している携帯電話が SIM フリーかどうか、出発前に確認しましょう。

SIM フリーでない場合、SIM ロックがかかっているため現地 SIM が使用できません。ポケット WiFi を現地で購入するか、WiFi 環境のある場所のみのご使用に限られます。

SIM フリーの場合、現地で SIM カードを購入の上ご使用いただけます。

SIM カードは「50 ペソ程度（120 円程度）」で購入可、月額プランも日本と比べるとお安い値段でご利用いただけます。

(6)フィリピン国内の旅行案内

セブ島の周辺にはボラカイ、ボホール、モアルボアル、カワサンフォール、オスロブ等たくさんの観光地があります。

学校で企画するツアーは繁忙期（7月・8月・12月・1月）のみのため、ほとんどの生徒様をご自身で計画をたてていらっしゃいます。

学校ではツアー・ホテル予約、オスメの観光地のご紹介などお手伝いさせていただきます。

5. ご帰国

当校で帰りのお送りサービスはございませんので、ご自身でタクシーをつかまえて空港に向かっていただく必要がございます。

当校に面している大きな道路は 24 時間タクシーが通っているため、深夜や早朝の出発でも少し待てばタクシーをつかまえることができます。

当校から空港までのタクシー費用は「250 ペソ」程度。大きな荷物を持っていると、高確率でドライバーにメーター＋追加料金を求められます。その場合「メーター＋50 ペソ」で十分のため、この金額で交渉して下さい。

空港にはフライトの 2 時間 30 分前に到着するようにしましょう。当校から空港までは平均 30 分程で到着しますが、渋滞に当たった場合それ以上に時間がかかります。

セブ空港では空港使用料「750 ペソ」が、おひとり様毎に発生します。タクシー代と空港使用料を考慮して、「1,000 ペソ」は最低手元に残しておくようにしましょう。

6. 最後に

渡航前案内書をお読みいただいた上で、ご不明点がある場合はいつでもお問い合わせくださいませ「edu.glantcebu@gmail.com」。

お客様のより良いご留学のために、スタッフ一同全力でサポートさせていただきます。

<GLANT アカデミー連絡先>

住所：GLANT ESL ACADEMY, Floremer subdivision, banilad, mandaue Cebu, Philippines」

オフィス連絡先：（032）416-3513（フィリピン国内から）
+63 32 416-3515（日本から）